

力士工四平の兄弟！

！

兄弟産も知つてゐる通り、人天の爭議は今非常に甚しい事へと繋げておきよだ。松井本郷四郎・鶴方麻布・浦田が起り、続いて赤坂・中公が起つて云ふに、力は益々大きくなつた。かく人天の兄弟産も四郎が金と米を寄付し、赤坂の兄弟がダラ幹を蹴つて手へと歎息すらと云ふ様に人天の兄弟産の將力に心折れし、あつた時、何故争議は本郷・赤坂・野方・前川で起つたのか？ 云はずと知れた大蔵好也が、力士一千を奮物にして、ダラ幹をかみ呑んで、平武吉を倒した。そこには争議國がツチリにてお子がわからず、各業界で中心に三原・代志を出しが、そつは唯万葉の連絡處で、皆を力士に下さり、各争議國を岩瓶体・宣傳体・自衛國体と云ふに、皆が一貫同様の如き一貫の精神にて、さしてアリテ、元氣を發揮して、お子がわにこじだ。そして唯ひにすら力士工の本部が何一つかは応援して見ぬぢうと情つておこりだ。

力士工四平の兄弟たち！

海にりす要來が通つたほんて、立つた自由効勤と争う事を上場手當が通つて、その代りに名兒翁が替わりだんだ。此がや何のために争ひ立たんとしただ。

職工の兄弟四つて、今五年待て四百名も五千名づつで苗切られ、家根三十名近くで、明日の飯にも困る。しかも在の連中四千人下し、力士工の兄弟四つて、前川の連中と同じにしか葛